

大阪市立 港中学校



所在地 〒552-0015 港区池島1丁目5番35号
TEL 06-6572-4461~2
FAX 06-6572-2444
校長名 名田 正廣(なだ まさひろ)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は朝潮橋駅徒歩3分と非常に交通の便の良いところにあります。「大阪オリンピック誘致」にあわせて、大阪プールや中央体育館などと同時期に建設されました。建物の形状を一言で言うと『大型船』。大型船を模した三角形の校舎は、抜群の耐震構造で建築物としてもとても面白い形です。ぜひ一度お越しのうえ、ご覧ください。

中学校3年間は、人生にとって非常に大切な時期で大人と子どもの分水嶺です。その大切な時期に「ソーシャルボンド(社会的絆)づくり」を最重点目標として掲げ、できるだけ多くの有識者・地域関係者・行政関係者がかかわる「チーム学校共同体」を軸とした教育を本校では推進しています。『港中は大きな船』という故事にちなんで、守り神の「三毛猫(みにゃっと)」をマスコットとした「品格教育」を校区地域小学校・保育園などと実施しています。多くの目が集まり、協働の精神を養いながら安全かつ、寛容な教育を港中学校は目指しています。

学校の教育目標

人間尊重の精神を基盤に個性を尊重し、自ら学ぶ態度や互いに敬愛し協力する健康で豊かな心を育てる。

本校教育のキーワード

ソーシャルボンド・チーム学校共同体・食い扶持を稼ぐ学力・面接プレゼン力・4つの約束事・みにゃっと・絶対値でがんばる校風

運営に関する計画

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

【学校の年度目標】・・・ソーシャルボンドの育成

- お互いの人権を尊重し「ソーシャルボンド」の強い集団の育成を図る。
- 「チーム学校共同体」を活用し正しい理論に基づいた研修を通じて生徒の「レジリエンス」の向上を図る。
- 学力より学習にこだわり授業方法の改善を通じ「自己実現率100%」を3年間の最大の目標とする。
- 「公正かつ自己決定」のできる雰囲気醸成し、「生徒の居場所づくり」を積極的に推進する。
- 健全な学校づくりのために、教職員の負担軽減を積極的に行い「バーンアウトゼロ」を目標とする。

【全市共通目標】

- 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を、90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

【学校の年度目標】・・・自立するための学力、踏ん張りのきく体力の育成

- 進路指導において自己実現率100%を目標に、非認知能力を高める。(面接プレゼン力)
- 認知能力の充実のために授業力の向上を図る。発問力、板書力、把握力を高め、ICT化・主体的に学ぶ協同学習・T2(チームティーチング)の関わり方について取り組みを深める。
- 放課後学習室を開設し、ICT教材の活用などを通じて自学自習をする雰囲気を醸成する。

【全市共通目標】

- チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2.5ポイント減少させる。
- チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2.5ポイント増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男子、女子ともに体力合計点を全国平均より上回る。

【施策を実現するための仕組みの推進】

- 目標達成のために学校力アップ支援事業(大学行政機関連携含む)を活用し、本校独自の様々な「チーム学校共同体」の取り組みを深める。
- 「広島大学」「関西学院大学」「太成学院大学」などの大学研究グループや「人材育成コンサルタント」「一般社団法人」などの専門性の高い指導を導入し、従来実施している「アセス」(学校環境適応感尺度)の学習適応感などを生徒それぞれの指導に活用する。
- 生徒の認知能力・非認知能力を高め、自己実現のために「競争より協働」の大切さを教える。

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

平均正答率 (%)		
国語	数学	英語
63	48	51

国語：全国と比較して、「話すこと・聞くこと」領域において10.7ポイント低く、「書くこと」領域において10.3ポイント低く、「読むこと」領域においても7.6ポイント低い結果であった。

数学：全国と比較して、「数と式」領域において16.4ポイント、「資料の活用」領域において11.3ポイント低い結果であった。「関数」領域において9.0ポイント、「図形」領域において8.9ポイント低い結果であった。
英語：全国と比較して、「話すこと」領域において6.4ポイント、「書くこと」領域において4.6ポイント、「聞くこと」領域において3.5ポイント低い結果であった。

当たり前のことを当たり前に行うこと、時間の大切さを学校目標として掲げ、授業規律の確保ができています。プロジェクターの全教室へ設置など、授業のICT化を徹底していくことで、学習意欲の向上、基礎学力の定着を図る。グループ学習・協同学習を取り入れ、ICT機器を使用した「発表」の機会をつくる。放課後学習室を活用することで、学びの場を授業以外でも作り、予習復習を通じた基礎学力の定着を図る。

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

項目	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	31.57	30.30	41.21	49.53	82.47	8.18	189.03	20.22	43.93
女子	27.90	23.83	43.55	44.87	61.93	8.88	170.57	14.64	52.85

全国平均と比較して、握力は男子が2.92kg、上体起こしは3.34回上回った。女子は握力は4.11kg、20mシャトルランが3.62回、立ち幅とび0.67cm、ハンドボール投げも1.68m上回った。男子は全国と比較して反復横とびが2.38回、20mシャトルランが1.06回、50m走が0.16秒、立ち幅とびが6cm、ハンドボール投げが0.18m低い結果である。

保健体育の授業および部活動、学校行事などに力を抜かず積極的に参加する成果であると考え、地域ぐるみで全校生徒の体力向上に関する意識を高め、今後さらなる体力向上をめざす。また、健康面においては健康週間を設け、保健委員会を中心として健康な生活習慣の確立に取り組んでいる。基本的な生活習慣においては朝食習慣が全国平均より10ポイント近く低く、朝食習慣の啓蒙を行う必要がある。

美しくきれいな校舎

全面二足制、モダンでおしゃれな造り、室内・屋外ともにきれいで清潔な校舎。ぜひ一度校内でご覧下さい。



卒業後の主な進路【過去3年間】

卒業生 H30年度 85名、R元年度 70名、R2年度 69名 進路先の人数は過去3年間の累計で表示

公立高校等

旭(3)、阿倍野(2)、泉尾工(5)、市岡(10)、今宮(3)、今宮工(2)、北野、教育センター附属(2)、工芸(2)、港南造形(3)、咲くやこの花(2)、桜宮(6)、島根中央、水都国際、住吉(2)、住吉商(2)、成城(12)、大正白稜(9)、中央、天王寺、なにわ高等支援(2)、難波支援(3)、西(5)、西成(17)、西野田工(2)、農芸、汎愛(4)、東(4)、東住吉(3)、東淀川、港(16)、都島工(3)、桃谷(定2)、守口東、夕陽丘(2)、淀川清流、淀商(5)

私立高校等

アナン学園、上宮(2)、英真(2)、追手門学院、追手門学院大手前(4)、大阪(5)、大阪借星、大阪学芸、大阪国際大和田、大阪成蹊女子(3)、大阪桐蔭、関西創価、関大第一、近大附(2)、興國(6)、好文学園、金光藤蔭(2)、秀岳館、常翔学園(7)、昇陽(8)、清風、清明、宣真(2)、大商大(4)、太成学院、浪速、東大阪大柏原、東大阪大敬愛、明浄、夕陽丘学園(2)

専修学校等

N高、大阪情報コンピュータ、中央学園、東朋、ルネサンス大阪、YMCA学院、就職等(10)

学校名等の後ろの()内は2名以上の進学者等の人数を表示しています。